

# NO.44

# スノーシューハイキング

## 1 ねらい

- ・スノーシューを履いて雪の上を歩くことで、歩きやすさを実感し、雪上散歩の楽しさを体験する。
- ・雪の泉ヶ岳を歩く活動を通して、雪の林の中を散策しながら、冬山の自然の魅力を体験する。



## 2 活動の計画

- (1) 活動期間            1月～3月
- (2) 所要時間            1時間以上
- (3) 対 象                幼児から（靴20cm以上）
- (4) 活動場所            山エリア（冬季活動エリア図参照）
- (5) 準備物

〔自然ふれあい館〕	〔利用団体〕
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スノーシュー</li> <li>・活動に必要なもの（シルバコンパス、双眼鏡、冬季活動エリア図 等）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に適した服装</li> <li>・防水性のある靴（長靴）</li> <li>・タオル（汗拭き）</li> <li>・飴などの行動食や飲み物（ツアーの場合）</li> </ul>

## 3 活動上の留意点

- ・靴のままでスキーコース内へ入らないでください。
- ・コースは、団体のねらい、体力、人数、活動時間等を考えてエリア図のコースから選択できます。

## 4 展開例

区 分	活 動 内 容	備 考
活動前	①活動のねらい、内容、方法についての諸注意 ②スノーシューの履き方、歩き方 ③コースの概要や必要に応じて動植物の観察や見所について簡単に説明	
活 動	各コースで実技 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察（動物の足跡、植物、野鳥、風景 等）</li> <li>・新雪を歩く、つぼ足で歩く、斜面を歩く等、スノーシューの特性を知って雪上の行動範囲を広げていきます。</li> <li>・ハイキングにゲーム的要素を取り入れます。（雪球ストラックアウト、宝探し、暗号の解読等）</li> <li>・ハイキングに道具の使用を取り入れます。（読図、シルバコンパスでの方位確認、双眼鏡での観察等）</li> </ul>	弁当を持ってツアーに行くこともできます。
活動後	◎人数点呼・整理運動・道具の片づけ・感想発表等	着替えは浴室が使用できます。